

木製の室内ドアに替えてみよう ナチュラルな空間づくり

自然素材の良さが見直されている。リフォームやリノベーションの際に、天然木を使ったドアを取り入れるのも選択肢の一つ。室内の壁や床、家具と合わせてトータルコーディネートすれば、雰囲気が大きく変わりそう。創業60周年を迎えた宇佐市の木製ドアメーカー、杉野製作所（杉野強社長、7人）の製品を使った施工事例を紹介する。

創業60周年の杉野製作所

木製の室内ドアメーカー

杉野製作所は1964年創業。当初は障子や欄間、木製建具の製作、取り付けを請け負った。30年ほど前からは工務店の注文に応じて室内ドアを中心に手がけてきたが、近年は大手メーカーの量産もあつて仕事が減少。「何とかせねば」と金谷悠司専務取締役（42）の発案で、自社製品の室内ドアの開発に着手したという。

室内ドアは引き戸、開き戸、折れ戸などの種類がある。201

6年には、表面に天然木を貼った突き板のドアと枠、金物をセットにした「DOAX（ドアックス）」（施工業者向け）を発売。19年からは、無垢材と突き板を組み合わせたドア、金物のセット「MUKUICHI（ムクイチ）」（一般も購入可能）も売り出した。

ドアックスの突き板はウォールナットなど5種類。住宅に合わせてサイズのオーダーが可能で、施工前にドアの図面を提供するため、スムーズなリフォームにつな

Information

杉野製作所 宇佐市山178-1
Tel. 0978-37-0233
Web. <https://www.suginodoor.jp/>



▲突き板用に薄く切った天然木を持つ金谷悠司専務



▲木材を切断する熟練の職人

られる。ムクイチは規格を標準化することで、無垢材のドアとしては手頃な価格（例〓シナの引き戸、開き戸は各4万9800円、6万9800円）にしたという。全国から注文が寄せられており、中でも関東や関西からリフォーム、リノベーション用途での利用が多い。職人でもある金谷専務は「二つの木目の違いや、年を重ねることの風合いの変化も楽しめる。自然な空間づくりに効果的です」と話した。



オーク



シナ

MUKUICHI

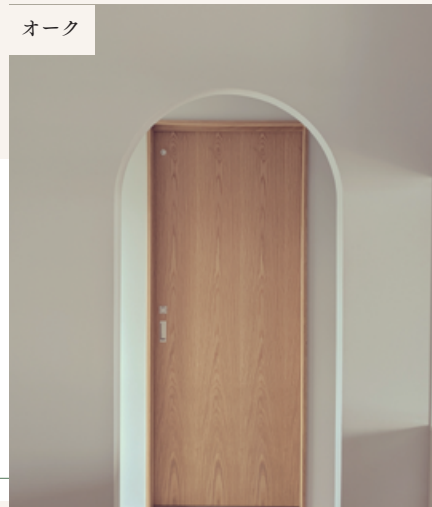
シンプルなデザインで床や家具とも合わせやすく、自然を感じる温かな風合い。人気のオークは天井まで達するハイドア。



ウォルナット

DOAX

ウォルナットは深みのあるブラウンで、アンティークな家具にもマッチする。オークは木目が美しい。



オーク



▲突き板のサンプル

▶人気のオーク材で作った「MUKUICHI」のドア

